

総合実践演習 (1 単位)

担当者氏名 小川 博・佐々木 剛・松林尚志・増田宏司・土田あさみ・宮本 太・御影雅幸・三井裕樹・
小池安比古・松嶋賢一・太田光明・川嶋 舟・内山秀彦・浅野房代・藤岡真実

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

バイオセラピー学科で開講されている講義，実験・実習・演習等について，教員の指導の下、課題の設定，教材の準備，講義等に補助的に参加し，その内容についてレポートを作成，改善点等について教員と討議する。このことにより教育者あるいは指導者としての資質を養うことを目標とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

野生動物学伴侶動物学植物共生学人間植物関係学動物介在療法学植物介在療法学教育

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の 内容と分量
1	演習の進め方	演習のねらい，実施方法，提出物，評価方法	◎本演習に臨む前に， 講義内容を把握するため，当該授業のシラバス読み，内容を把握しておくこと ◎演習終了後に当該授業の実施内容をまとめる
2	担当授業内容の理解	補助をする授業や実験，演習の内容の把握	
3	教材の準備	使用する教材，資料等の作成，準備	
4	授業の補助（1）	出席管理，資料の配付	
5	授業の補助（2）	講義の進め方	
6	授業の補助（3）	実験・実習・演習における指導	
7	総合討議	授業の改善点の討議	
8	総括	まとめと報告	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

適宜，必要に応じて指示する

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

バイオセラピー学入門/林良博・山口裕文編著/講談社(2012)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポートを評価する

◆オフィスアワー

毎週月曜日午後15時に研究室で質問等を受け付ける

◆その他受講上の注意事項

教員の指導と指導に対する対応等の記録を月報として提出し、承認を受けること。本講義による授業の補助は、ティーチングアシスタントとしての給与の対象としない。